



みんなで育てよう!

連載最終第6号

市民基本条例

連載最終章『条例の検証及び見直し』

対馬市条例の最高位に位置づけられた条文を、項目ごとの施策に応じて推進状況等を検証します。



みなさん、一緒に未来に向かって、
明るいまちをつくりましょう!

まちづくりの基本事項を定めたこの条例は、項目ごとの施策が今、どんな形でどんな方向性で実施されているかなど状況を把握し、検証を行っていくことになります。

その検証を行うために設置されたのが、「対馬市市民基本条例推進審議会」(解説)です。審議会では慎重に検証された結果、条例の見直し等が必要と判断された場合は、関連する法令の改正や時代の背景に応じて条文を見直しに行くことになります。なお、審議会については、対馬市市民基本条例推進審議会規則に規定されています。

【解説】

市民基本条例推進審議会...まちづくりやボランティア団体等に属する方、公募により選任された方、社会教育関係団体及び市議会議員の代表、本市職員など現在9名の委員で構成されています。

この審議会は同規則に則り、市民参画と協働のまちづくりを進め、広く市民の声を反映した市政運営を図るために設置されています。

地域マネージャー通信

チマネ通信
VOL.21

上県町
旧久原小学校区

今回の地域マネージャー通信は、上県町にある旧久原校区の取り組みを紹介します。

平成24年11月10日、校区内の鹿見・久原・女連の3地区の地域マネージャー6人が、地区住民やNTT職員と一緒に県道鹿見港線入口付近にあるサルスベリ植栽箇所の保全作業を行いました。

県道鹿見港線入口約80mには17本のサルスベリが植栽されており、夏になると白やピンクの綺麗な花が咲きます。しかし、後ろの雑木が茂り、せっかくの花が見えにくい状態でした。そこで、地域一体となって雑木の伐採等を実施。3時間半ほどの作業で、植栽されたサルスベリがよく見えるようになりました。

また、ここに隣接する「佐奈豊トンネル」では、毎年彼岸頃になると、朝鮮海峡に沈む夕日がトンネル口にすっぽり入る現象がみられます。この現象はとても珍しく、観光名所としてPRできないかと思案中です。そんな夕日を見るのに障害となる樹木も地域マネージャーが伐採作業を行い、すっきりと見通せるようになりました。

夏にはきれいに咲いたサルスベリを、彼岸時期にはトンネルをって海に沈む夕日を見に、是非お越しください(トンネル内での夕日観賞は非常に危険ですので十分ご注意ください)。



傾斜地での人力作業は危険で大変
安全第一で作業しました

地区で何か計画している場合は、各地区の区長さんや担当地域マネージャーにご相談ください。

問い合わせ 地域再生推進本部 協働のまちづくり推進グループ 0920(53)6111